

トルコ中央銀行は利上げできるか(2018年9月)

2018年9月10日

お伝えしたいポイント

- ・ 今週(9月13日)開催予定の金融政策委員会で利上げが決定されるかに注目

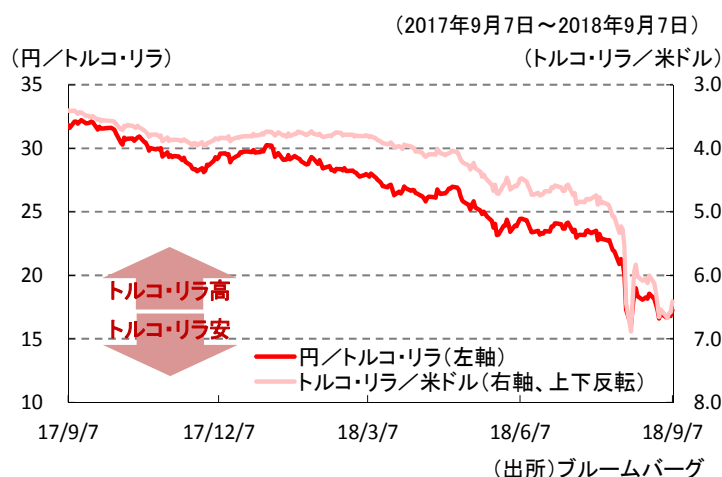
<トルコ中央銀行は金融政策を調整することを宣言>

年初からトルコ・リラは下落が続いています。8月にはトランプ米大統領がトルコに対する鉄鋼・アルミの関税の引き上げを表明するなど対米関係の悪化が懸念され、トルコ・リラは対円、対米ドルで最安値を更新しました。

その後、トルコ中央銀行が銀行に対する資本規制を強化したことなどを受けて、最安値からは反発しました。しかし、①中央銀行の独立性をめぐる懸念、②インフレや経常収支赤字などファンダメンタルズ面での懸念、③欧米諸国との対外関係をめぐる懸念などに注目が集まりやすい環境に変わりはありません。ただし、足元ではいくつかの状況に変化の兆しも見えはじめています。

8月の消費者物価指数が事前の市場予想を上回る結果となった直後、トルコ中央銀行は9月13日(現地、以下同様)に開催予定の金融政策委員会で、金融政策を調整することを宣言しました。市場が利上げを見込んでいた7月の金融政策委員会で政策金利が据え置かれた背景には、エルドアン大統領が金利の引き下げを望んでいたことがあるとみられ、次回の金融政策委員会でどのような決定が下されるかに注目が集まっています。トルコ・リラ安に歯止めをかけるためにはエルドアン大統領の意向に反して、大幅な利上げが必要と考えています。

《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

また足元の通貨安が、トルコの経常収支の赤字にどの様に影響するかにも注目しています。特に観光収支の黒字の増加を背景にサービス収支の回復基調が続いています。観光客数も前年同月比で増加基調が続いており、2018年1月から7月までで2,164万人(前年同月比+24.9%)の外国人観光客がトルコを訪れました。

貿易統計においても、7月の輸出は前年同月比で+11.6%となった一方で、輸入は-6.7%となるなど、貿易収支に改善の兆しも見られます。依然として経常収支赤字は巨額ですが、こういった通貨安の効果などにより緩やかな改善が続いていくと見込んでいます。

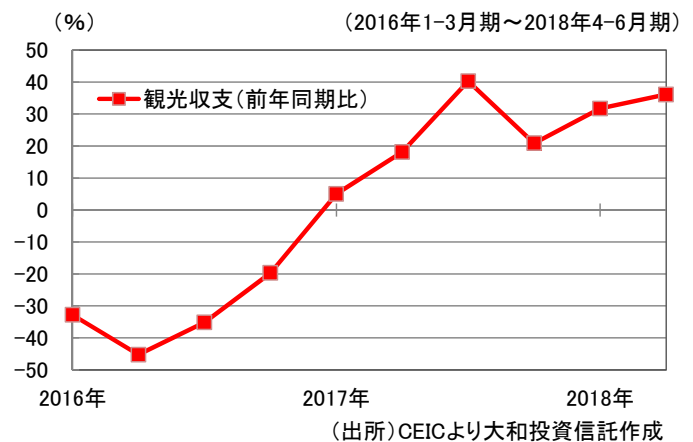
対米関係悪化の主要因である米国人牧師を長期間拘束している件についても、注目しています。牧師は2016年7月のクーデター未遂事件に関与したとして逮捕・収監され、裁判が続いています。

エルドアン大統領は、経済制裁など米国の脅しには屈しない姿勢を示していますが、法の下での釈放であれば、自身の体面を保ちつつ米国との関係を改善方向に進めることができるのではないかと考えています。

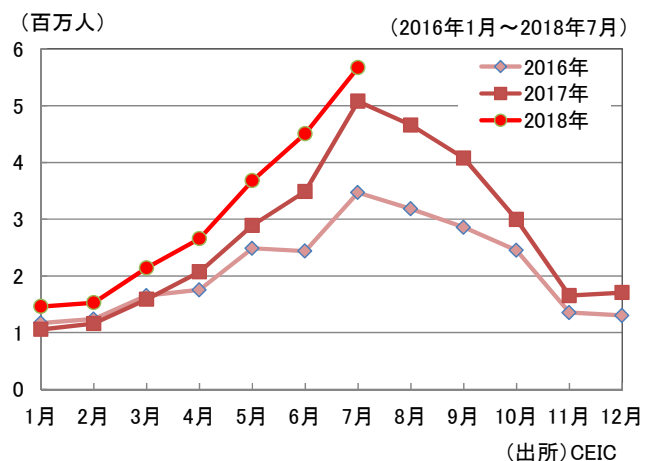
トルコ金融市場は、引き続きニュースや要人発言などに反応しやすい環境が続くことが想定されます。短期的には、13日の中央銀行の金融政策判断が最大の注目点となります。トルコ中央銀行が市場からの信頼を回復することが、市場の安定を取り戻す第一歩として必要だと考えています。その後も、中長期的なトルコのファンダメンタルズを改善させるための財政緊縮策や構造改革への道筋を示すこと、対外関係を改善することなど解決すべき課題は多いですが、引き続き状況を注視していきたいと考えています。

以上

《トルコ観光収支(前年同期比)》



《訪トルコ観光客数の推移》



<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・トルコ・リラは史上最安値を更新(2018年8月)(2018/8/13)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180813_1.html
- ・トルコ金融政策(2018年7月)～トルコ中央銀行は市場予想に反し、政策金利を据え置き～(2018/7/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180725_1.html
- ・速報・トルコ選挙(2018年6月)～現職のエルドアン大統領が過半数を獲得し、再選へ～(2018/6/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180625_1.html
- ・トルコ金融政策(2018年6月)～トルコ中央銀行は通貨防衛のため利上げを実施～(2018/6/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180608_2.html
- ・トルコ中央銀行は通貨防衛のため緊急利上げに動く(2018年5月)(2018/5/24)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180524_2.html
- ・トルコ・リラは最安値を更新(2018年5月)～S&Pの格下げ以降、トルコ・リラは続落～(2018/5/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180508_1.html
- ・トルコ金融政策(2018年4月)～短期的には中央銀行の利上げによる通貨防衛姿勢がトルコ・リラを下支え～(2018/4/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180426_1.html
- ・トルコ・リラは一時最安値を更新(2018年4月)～目先は金融引き締め、長期的には経常赤字体質の改善が求められる～(2018/4/16)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180416_1.html
- ・ムーディーズによるトルコの格下げについて(2018/3/9)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180309_1.html
- ・トルコ金融政策(2017年12月)～トルコ中央銀行は利上げにより通貨防衛姿勢を示す～(2017/12/15)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171215_2.html
- ・最近のトルコの為替・金利動向と今後の見通し(2017年11月)(2017/11/28)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171128_1.html
- ・トルコと米国のビザ発給業務停止に関する報道を受けて(2017/10/10)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171010_1.html
- ・トルコの最近の状況について(2017/10/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171005_2.html

◇Weekly Report

- ・トルコの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=7>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>